

**製品名: ITGA1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82798**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | IHC,ICC,ELISA,FC                                  |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a                                       |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 130.8kDa  |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | ITGA1   |
| 別名           | VLA1; CD49a                                     |
| 遺伝子 ID       | 3672.0  |
| SwissProt ID | P56199  |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト ITGA1 (AA: extra(151-364)) の精製組換え断片。 |

**背景**

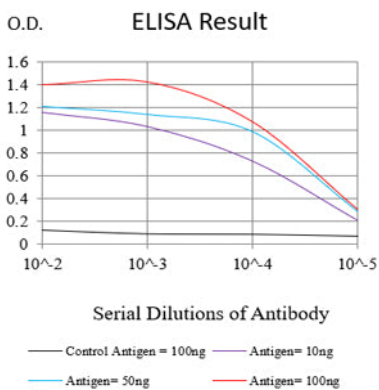
この遺伝子はインテグリン受容体の  $\alpha 1$  サブユニットをコードしています。このタンパク質は  $\beta 1$  サブユニットとヘテロ二量体を形成し、コラーゲンおよびラミニンの細胞表面受容体を形成します。このヘテロ二量体受容体は細胞間接着に関与し、炎症や線維化に関

与している可能性があります。α1 サブユニットには、コラーゲン結合に関与すると考えられるフォン・ヴィレブランド因子I型ドメイン (I) が挿入されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

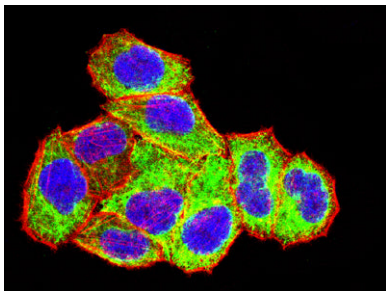
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

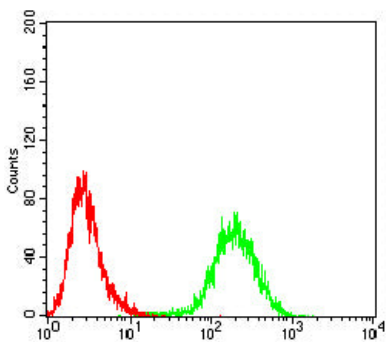
## 画像データ



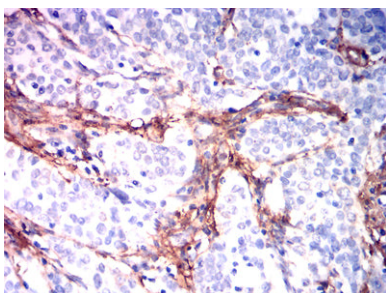
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



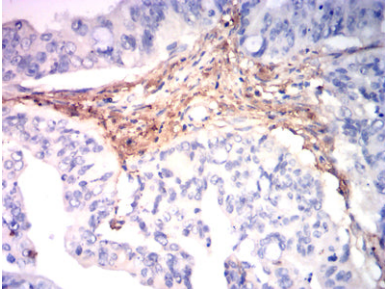
ITGA1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ITGA1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による ITGA1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ITGA1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。